



[今月の聖書]

これらの事の後、主の言葉が幻のうちにアブラムに臨んだ、／「アブラムよ恐れてはならない、／わたしはあなたの盾である。あなたの受ける報いは、／はなはだ大きいであろう」。この時、主の言葉が彼に臨んだ、「この者はあなたのあとつぎとなるべきではありません。あなたの身から出る者があとつぎとなるべきです」。そして主は彼を外に連れ出して言われた、「天を仰いで、星を数えることができるなら、数えてみなさい」。また彼に言われた、「あなたの子孫はあのようなになるでしょう」。アブラムは主を信じた。主はこれを彼の義と認められた。

(創世記 15:1, 4~6)

「彼は、神の約束を不信仰のゆえに疑うようなことはせず、かえって信仰によって強められ、栄光を神に帰し、神はその約束されたことを、また成就することができる」と確信した。」 (ローマ 4:20, 21)

「あなたの約束はわたしを生かすので、わが悩みの時の慰めです。」 (詩篇 119:50)

「苦しみにあったことは、わたしに良い事です。これによってわたしはあなたのおきてを／学ぶことができました。」

(詩篇 119:71)

「あなたのみ言葉はわが足のともしび、わが道の光です。」 (詩篇 119:105)

「それは聖書の与える忍耐と慰めとによって、望みをいだかせるためである。」 (ローマ 15:4)

お元気でお過ごしでしょうか。今月は「希望の言葉」と題してお話します。「初めに言があった」(ヨハネ 1:1)と書かれていますが、世界の全てのものは神の言葉によって創造されました。1月からのテーマとなっているアブラハムの生涯においては、しばしば神が語られました。神の言葉によって彼は進み、とどまり、慰められ、また希望を持ちました。しかし今日私たちが持っているような、紙に書かれた聖書からではありませんでした。神は愛するものに、みことばをもって語りかけられます。選ばれた人物に対する神の言葉が、記録されて今日の聖書が編纂されています。新約聖書で聖霊が働いて以来、誰でも信仰を持って読むときに、聖霊が働いて、過去の人ではなく現在の私のための言葉として与えられるのです。神の愛の言葉は罪に悩み、人生に悩み、生きることの苦悩を経験している私たちに対して与えられました。私たちが理解できる言葉で、わかりやすく現代にかかりかけています。それが聖書です。そして聖書があなたの人生の「希望の言葉」となりますようにお祈りしています。

(お知らせ)

* 地区集会のご案内

2月5日(火) 13:00 CFI 千葉集会 (千葉駅前センシティタワー22階東天紅 TEL043-238-5555)

2月12日(火) 13:00 CFI 横浜集会 (福音喫茶メリー TEL 045-231-6773)

2月20日(水) 11:00 水曜礼拝、14:00 ジョイコーラス礼拝 (自由が丘チャペル)

* 2月11日(月) 16:00 東日本大震災復興支援超教派一致祈祷会 (淀橋教会)

* 2月21日(木) 11:00 バイブルアカデミー (自由が丘本部事務所)

「西日本豪雨災害に遭い感謝に変えられたこと」

脇坂美都子（広島県）

7月6日（金）呉の友人と電話中、外を見ると床すれすれまで水が一気に上がっていて、2階に上がるからといって電話を切りました。その友が教会に祈りの要請の電話をしてくれました。水が引いた時には、へどろで玄関から出るのも困難な状態でした。

土日月、外には1歩も出られません。しかし教会の先生や、兄弟姉妹が来て下さり、とりあえず、外に出る足場を木切れやそらの物で作っていただきました。

その後ボランティアセンターが立てられて、多人数が来てくださり、元のようにするため、すばらしい働きをしていただきました。床下の

どろ出しは専門にしている災害臨時NPOチームがおもに関東方面から来て、矢野地区のあちこちで困難な作業を喜んで一生懸命やってくださいました。私にできることはしなければと思い、裏隣の方が、一番被害が大きかったので、水につかって冷蔵庫もクーラーも使えず、兄さんが1人どろ出しに頑張っておられたので、ボランティア要請の申込書を書いて手続きを出し、ともかく暑かったので発泡スチロールボックスをもらってきて、氷や冷たいタオル、スイカ、飲み物、アイスなど10時と3時に差し入れを毎日続けました。

ある日、「脇坂さんの経済は大丈夫ですか」と聞かれたので、心配させては悪いと思い、「教会からお見舞いをもらったので心配しないでください」といったら、安心されていました。

忙しい日々の中でも聖日礼拝はボランティアをお断りして出席しました。礼拝を守ることが大切だと思っていたからです。経済的な満たしは、7月9日（月）すぐ災害保険が入るかどうかJA広島市農協に電話して聞くと、「規約には床下浸水は入らないと書いてあるから申し訳ないけどだめでしょう」と言われてがっかりしました。しばらくして渉外の方が写真を撮りに来られ話をしながら、クーラーの室外機は水につかったけど壊れていないこと、ブロック塀は前から古いので壊れていて水害が原因じゃないと言いました。又しばらくして電話があり、「保険が入る金額が決まりました。1,143,228円、です。

後ほど振り込みます」といわれてびっくりしました。どうして入ったのかわかりません。すぐに十一献金をしなければと思い広島キリスト教会に6万円、他教会2件に3万円ずつ決めました。その後牧師先生2人が皆様からの義援金をお見舞いとして待ってきてくださり、10万円も入っていました。それでは広島キリスト教会に12万円献金して後の2件も6万円、決めた限りは惜しんではならないと思い、振り込みが入る前にすぐ送りました。

マラキ書3章10節 「あなたがたは十一献金をもって、神のものを盗んでいる。これをささげて、天の窓が開いて恵みがあるかないかためしてみよ」とあります。支出は、すぐ隣に新築が建ち、小さい子供さんが3人おられるのでブロック塀が危ないと思い、新しくしてもらい、(1,080,000円)他はカーテン2枚、ジュタン2枚と献金12万円の支出、大工さんの仕事は全部ただにしてください、差引-1614円、でした。

ルカ6章31節「人からしてもらいたいと望むとおりに人にしなさい」とありますから他教会へ献金6万円と皆さん（ボランティア、隣人）への接待費用は自費で出しました。7月6日～10月19日までにすべて思っていたことをしていただき感謝します。皆様からの義援金と、どろ出しの労働とお祈りを心よりお礼申します。神様の御名を崇めて感謝します。

